**第３学年２組　道徳科学習指導案**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和５年１１月１７日（金）第５校時

１　主題名　　安全にくらすために【Ｃ－(１２)　規則の尊重】

２　教材名　　「家のパソコンで」（新・みんなのどうとく３、学研）

３　主題設定の理由

　（１）道徳的価値について

本主題は、中学年の内容項目【Ｃ－(１２)　規則の尊重】「約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること」をねらいとしている。指導に当たっては、一般的な約束や社会のきまりの意義やよさについて理解し、それらを守るように指導していくことが大切である。さらに社会集団を維持発展する上で、社会生活の中において守るべき道徳としての公徳を進んで大切にする態度にまで広げていく必要がある。

（２）児童観

（略）

　（３）教材観

　本教材は、家族との約束を破ったてつおの行動を通して、ねらいに迫るものである。パソコンを使う上で決めた家族との約束を守らず、友達もやっているからと無料のゲームを楽しんだてつおの身に、予想外の出来事が起こるまでの様子が描かれている。家族が安全かつ安心して生活するために約束を作ったことの重要性を考えさせ、友達がしているから、少しくらいならと安易な気持ちで約束を破るのではなく、それを守ることが自分の義務であり、そうすることで家族との関係がよくなることに気付かせることができる教材である。

（４）指導観

　　　本指導内容は、生活する上で必要な約束や法、きまりの意義を理解し、それらを守ると共に、自他の権利を大切にし、義務を果たすことに関するものである。社会の法やきまりのもつ意義について考えることを通して、法やきまりが、個人や集団が安全にかつ安心して生活できるようにするためのものであると理解することは、社会生活を送る上で欠かせないことである。指導に当たっては、家族が安全かつ安心して生活するために約束が作られたことに気付かせ、約束やきまりを守り、家族と気持ちよく生活しようとする態度を育みたい。

〇　なぜ約束やきまりを守らなければならないのかについて考える

　　　登場人物の失敗を基に、約束やきまりの意義や、それらを守ることで自分や家族を危険から守ることができ、みんなが安全に安心して生活することのよさを考えさせていく。

〇　安全・安心してインターネットを利用するために必要なこと

児童にとってインターネットは身近にあり、その使い方について約束を決めている家庭もある。使い方に慣れるに従い、友達もしているから、無料なら大丈夫と安易な気持ちでインターネットを利用してしまうこともある。しかし、正しく使わないと自分だけでなく家族にも危険が及ぶことに触れる。

４　大玉村重点事項「心に響く道徳教育の推進（自己を見つめる）」とのかかわり

　【視点１】自分の家の約束やきまりを振り返る場の設定

　　　自分の家で決められている約束やきまりについて、事前アンケートを基に児童の生活を振り返り、約束やきまりについて児童の本音を引き出し、登場人物の行動を、自分事として捉えることができるようにする。

　【視点２】多面的・多角的に考えるための場の設定

　　　約束やきまりの意義や、約束やきまりを守るために必要なことをグループで話し合うことを通して、一人一人が考えをもって話し合うと共に、友達の意見を聞き自分の考えを深めることができるようにする。

５　本時のねらい

　　危険から身を守るために約束やきまりがある理由を考えさせ、約束やきまりを守って安全に過ごそうとする態度を育む。

６　学習過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習内容・活動 | 時間 | 〇指導上の留意点　◎村重点関連  ※評価 |
| 導　入 | １　本時の課題を把握する。  （１）　家では、どんな約束やきまりがあるのか話し合う。  （２）　約束やきまりについてどう思うか紹介する。  （３）　学習課題を確認する。  なぜやくそくやきまりはあるのかな。 | 10 | ◎　自分の家で決められている約束やきまりについて、事前アンケートを基に児童の生活を振り返り、約束やきまりについて児童の本音を引き出し、登場人物の行動を、自分事として捉えられるようにする。　　　【視点１】  ①  ○　素直な気持ちや正直な気持ちを自由に発言できる雰囲気をつくる。 |
| 展　開 | ２　「家のパソコンで」を読んで考え、話し合う。  （１）　教材の挿絵を２つ提示し、それぞれのてつおの気持ちについて考える。  　＜ゲームをしていた時＞  　　・無料だから大丈夫  　　・友達もやっているから大丈夫  　　・少しくらいなら平気  　＜動かない画面を見て＞  　　・無料と書いてあったのに  　　・お金を取られたら  　　・約束を守ればよかった  ３　約束やきまりの意義を話し合う。  　（１）　てつおの家ではなぜ約束を決めたのか考える。  ・　危険なこともあるから  ・　お金がかかってしまうことがあるから  ・　安全を守るため  　（２）　約束を守るために、必要なことについて考える。  ・　少しくらいならはダメ  ・　友達がしているからと言って真似をしない  ・　強い心をもつ | 10  15  (7)  (8) | ○　パソコンのゲームに夢中になっているてつおの気持ちを考えさせる。  ○　友達もやっているから、少しくらいなら大丈夫だと、過信しているてつおの気持ちに気付かせ、自分にも似た経験がないかを考えさせる。  ○　約束を破って後悔している気持ちや、家族に迷惑をかけるかもしれないと、心配しているてつおの気持ちに共感させる。  ○　心のものさしを活用し、主人公の気持ちの違いについて考えさせる。  ②  ○　約束やきまりを決めた理由をグループで話し合わせることで、約束やきまりの意義についての考えを深められるようにする。  ○　友達がしているから、少しくらいなら大丈夫だと、過信をすることで、規範意識が薄らいでしまうことがあることに気付かせる。  ◎　約束やきまりの意義や、約束やきまりを守るために必要なことをグループで話し合うことを通して一人一人が考えをもって話し合うと共に、友達の意見を聞き自分の考えを広げることができるようにする。　　【視点２】  ③  ○　てつおの失敗を基に、自己の体験を振り返り、自分事として考えられるように促す。  ※　約束やきまりを守ることへの自分の考えを深めているか。（発言・ワークシート） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習内容・活動 | 時間 | 〇指導上の留意点　◎村重点関連  ※評価 |
| 終　末 | ４　学習の振り返りをする。  今までの自分を振り返り、これからどんな気持ちを大切にしたいかについて考える。 | 10 | ○　自分事として考え、自分の正直な気持ちを考えさせる。  ○　自分でインターネットを使うときの約束を考え安全に使おうとする意欲を高める。 |

７　板書計画

◎やくそくを守るために、どうしたらよいか

・友だちがやっていても、まねをしない

・少しぐらいならと思わない

・決めたことを守る強い心をもつ

　　　家のパソコンで

　なぜやくそくやきまりはあるのかな

◎なぜ、やくそくがひつようなのか

・安全に使うため

・安心して生活するため

・友だちもやっているから

・少しくらいなら平気

・むりょうだから

挿絵①

(ゲームに夢中になっているてつお)

・どうしよう

・こまったな

・おこられてしまう

・お金をとられたら

・むりょうと書いてあったのに

・やくそくを守ればよかった

挿絵②

(動かない画面を見ているてつお)